

茶道サークル会員募集中

裏千家茶道を勉強しませんか？

活動日：毎週火曜日

時間：10時～13時

場所：倶知安町南3東4-2-2

倶知安町公民館（和室）

その他：見学可

お気軽にお越しください。



4月3日、ヒラフスキー場で「倶知安町長杯21th スーパーバンプスニセコCUP」が開かれました。前日にはジュニアのモーグル教室も行われ、残り少ないスキーシーズンを全道から参加した元気な選手たちの華麗な技で盛り上がりしました。

町内選手の入賞は次のとおり（敬称略）

【ジュニア女子】▼1位上野真奈（東小6年）▼2位住吉木紗良（東小5年）▼3位住吉桃華（東小6年）

【女子】▼1位横尾わなか（俱中3年）▼4位森池ましろ（俱中1年）

スーパーバンプスニセコCUP



公民館・社会教育課 ☎22 - 4151
絵本館 ☎22 - 0055
総合体育館 ☎22 - 2288
学校教育課 ☎56 - 8018

絵本館おはなし会 **こびとの森**

5月28日（土）11時～

★大型絵本「よくばりすぎたねこ」

★紙芝居「みどりいろのたね」

★エプロンシアター「くいしんぼうのこりら」

ふる探訪

338回

あの時代 この時代

その23 『植樹祭』 昭和38年5月

明治37年ごろ、官林の払い下げで倶知安村（当時）の所有地となったのが旭ヶ丘公園の始まりでした。いつごろから旭ヶ丘公園と名付けられたのかは不明ですが、明治43年ごろには旭ヶ丘公園予定地となっていたようです。

大正になり地元の中央青年会が公園予定地の整備を始めました。桜の木200本が植えられ、やがて花見の名所として知名度も上がりました。

町内の方たちの勤労奉仕に支えられながら、徐々に公園は町民の憩いの場として利用されるようになりました。本格的な整備が行われるようになったのは昭和46年以降からでした。



町長室から

「豪雪のまち」にもようやくやく春が訪れました。羊蹄山の美しい姿が目まぶしい季節です。

農家の方たちは、これから本格的に忙しい時期となります。昨年は猛暑で作物の管理が大変でしたが、今年は安定したお天気で稔りの秋を迎えられるよう願っています。

東日本大震災からもうすぐ2カ月となります。皆さんから日本赤十字社倶知安分區に託された義援金は総額で1千万円を越えました。また姉妹都市サンモリッツや学生が交流しているペルーからもお見舞いをいただき大変感謝しています。また、被災地で長期間にわたり活動している倶知安駐屯地の隊員の皆さんには、敬意を表するところです。さまざまな形で被災地を応援している皆さんの暖かい気持ちと熱い心に、改めて倶知安町民の力強さを感じています。私も被災地の復興を心から願い、できる限りの支援を続けていきたいと思っています。

さて、懸案となっています広域ごみ処理計画ですが、山麓の協議会で「固形燃料化方式」に決定し、次に施設建設場所や事業主体など、まだまだ多くの事を検討しなければなりません。その内容については、町民の皆さんや町議会にもご説明し、ご理解を待たなくてはならないと考えておりますので、今後ともご協力をお願いいたします。まもなく、桜の便りも聞かれる頃です。どうぞ外に出て、春を探しにお出かけください。

福島世二